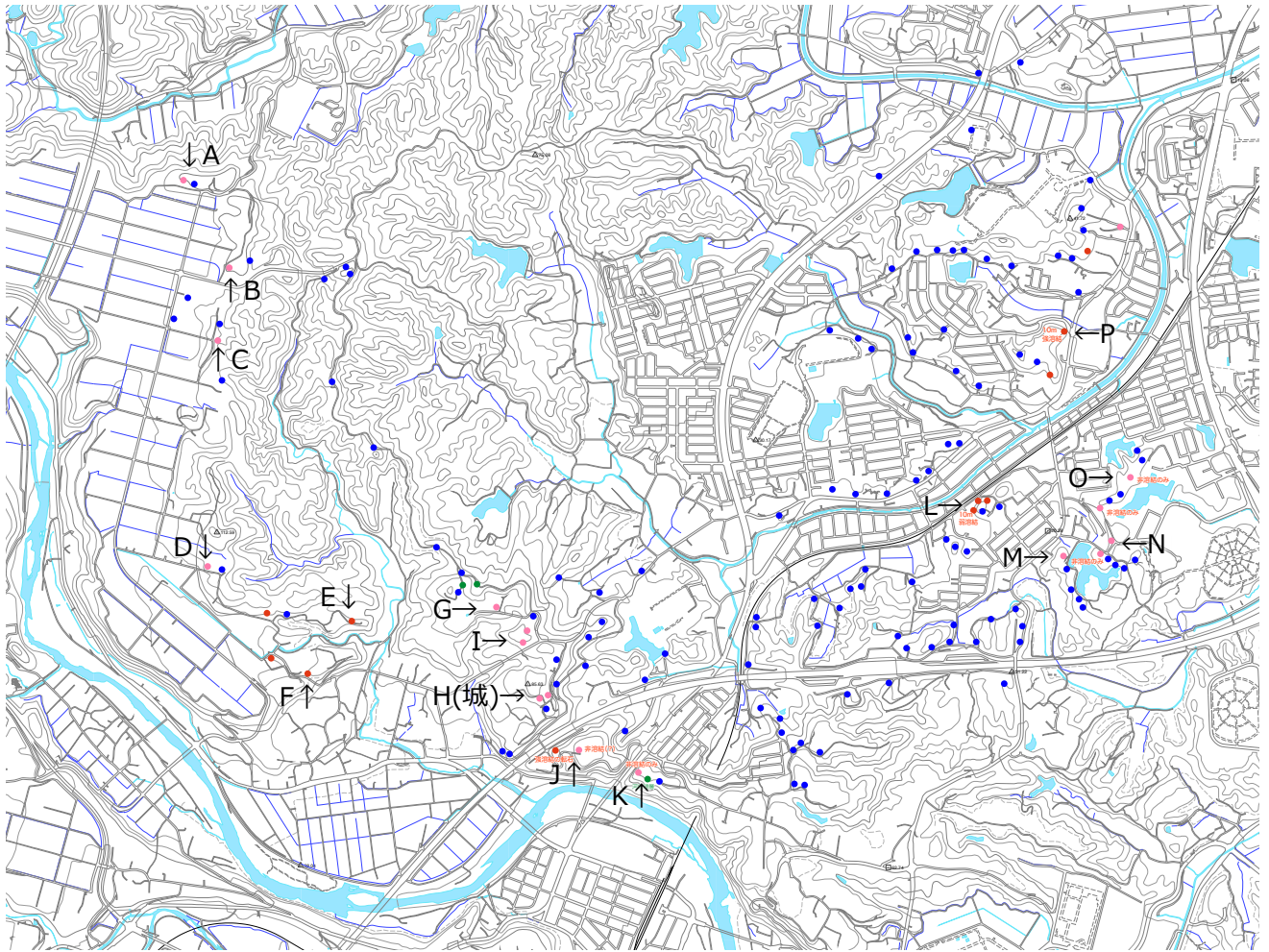


宮崎県宮崎市清武町加納地域の入戸火砕流堆積物の残存について

2020.11.21 中山

調査地点 (途中)



地点 A 南側

西側

地点 B



宮崎層の上部に粘土層 (礫あり)  
火山灰層は西側 厚さ不明



宮崎層の南側に火山灰層



A 地点と同じ標高に火山灰層  
厚さ不明

地点 C



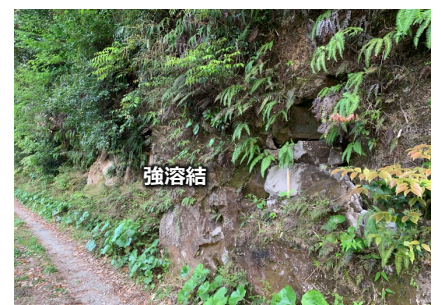
土壌に挟まれた火山灰層  
30cm ほど

地点 D



宮崎層 (たまねぎ風化) を覆う  
火山灰層 厚さ 2 m 程 溶結なし

地点 E



溶結した火砕流堆積物  
厚さは不明

地点 F



10m 程の火砕流堆積物

地点 G



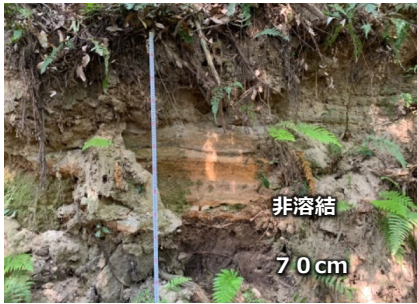
高台上部南側の火山灰層

地点 H



清武城南側の火山灰層  
30cm 程 下部は土壌

地点 I



高台南側の保存の良い火山灰層  
1m 弱 ラミナの様子も見られる。



地点 J



高台南側の火山灰層  
下部は風化した土壌の層

地点 K



清武川面の崖の火山灰層 30cm 程  
上部は土壌、下部は宮崎層 (川床礫)

地点 L



弱溶結の凝灰岩 八重川南側  
南側上部は宮崎層

地点 M



高台に残る火山灰層 30cm 程  
下部は土壌

地点 N



高台に残る火山灰層  
厚さは不明

地点 O



高台の火山灰層 50cm 程  
下部は宮崎層群

地点 P



溶結度の強い凝灰岩 八重川北側  
10m 程、西側は宮崎層

清武川と標高 50～100m の丘を隔てた加納地区は、現在の八重川に沿って火砕流堆積物が残存しており、北側にかけて堆積層が厚く、溶結の度合いが強くなる傾向がある。